

PART 1 4月14日(土)14時受付/14時30分開始 会場/TKP秋葉原ホール

JR 線・日比谷線
秋葉原駅・徒歩 5分

第一部 SPECIAL MESSAGE 安齋育郎氏講演

第二部 COMMUNICATION WORK SHOP

できるCOMMUNICATION~患者さんとの接し方~ver.01

【安齋育郎氏 profile】 東京大学工学部原子力工学科を卒業後、大学院修士および博士課程で放射線健康管理学を専攻。工学博士。東京大学医学部放射線健康管理学教室助手、東京医科大学病院管理学教室客員助教授などを経て、1986年立命館大学経済学部教授、1988年より立命館大学国際関係学部教授、現在に至る。近年、オカルト・超能力ブームを批判的に考える立場から、新聞・雑誌・ラジオ・テレビなどに登場。1994年9月、オウム真理教の機関誌『ヴァジラヤーナ・サッチャ』第2号で「超能力批判の急先鋒」として批判され、その後、差出人不明の箱状配達物や薬物入り郵便物、夜中の執拗な無言電話などを経験。主な著書に『だます心 だまされる心』(岩波新書)、『人はなぜ騙されるのか』(朝日新聞社)、『だからあなたは騙される』(角川書店)、『理科離れの真相』(朝日新聞社、共著)など。



PART 2 5月13日(日)13時30受付/14時開始 会場/東京ファッションタウンビル9F

第一部 SPECIAL MESSAGE 中村哲医師講演

第二部 COMMUNICATION WORK SHOP

できるCOMMUNICATION~患者さんとの接し方~ver.02

【中村哲医師 profile】 ペシヤワール会現地代表。PMS(ペシヤワール会医療サービス)総院長。1946年福岡市生まれ。九州大学医学部卒。専門=神経内科(現地では内科・外科もこなす)。国内の診療所勤務を経て、1984年パキスタン北西辺境州の州都のペシヤワールに赴任。ハンセン病を中心としたアフガン難民の診療に携り現在に至る。主な著書に『ペシヤワールにて』『ダラエ・ヌールへの道』『医は国境を越えて』『医者井戸を掘る』『辺境で診る辺境から見る』(石風社)『アフガニスタンの診療所から』(筑摩書房)『ほんとうのアフガニスタン』(光文社)『医者よ、信念はいらない まず命を救え!』(羊土社)など。



りんかい線・国際展示場駅・徒歩 7分
ゆりかもめ・国際展示場正門駅・徒歩 3分

私たち東京民主医療機関連合会は、都内・首都圏の病院・診療所をはじめとする医療・介護の連合体です。毎年春に医学部・医科大学に入学するみなさんを歓迎し、様々な企画を行っています。今回は4月5月の連続開催となっています。安齋氏と中村医師のお二人からのスペシャルメッセージを通して、「学問が誰のためにあるのか」「何のために学ぶのか」「医療が誰のためにあるのか」「地域や人から求められる医療者とは?」、といったことを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

また、後半のグループワークショップ「できる COMMUNICATION~患者さんとの接し方~」では、実践的なコミュニケーションスキルを学ぶことで、医療者にとって欠くことのできない「患者さんと向き合う上で必要なことは何なのか」ということを考えていきたいと思っています。

昨年は、ファシリテーターに医学教育学会評議員 卒後臨床研修委員の下 正宗 医師(東京勤労者医療会東葛病院・副院長、TMR 地域医療臨床研修研究センター・副センター長)を迎えて、医学生と医療従事者が改めてコミュニケーションの重要性を学ぶ場となりました。

医療の入り口に立った新入生の方々はもちろん、在校生の方々の参加も大歓迎でお待ちしています。

お問い合わせ・申し込みは、表面連絡先または左記 QR-code からメールまたはファックスで、氏名・大学・学年・連絡先・メールアドレスを記入のうえ東京民医連まで送信をお願いします。

